

Vol.104

院長 関の

Face to Face

2017年 2月 1日発行



皆さんも目の下や上がピクピクと痙攣して困ったことがありませんか？まぶたのピクピクが起こるのは、主に3つの原因が考えられます。

まずは最も一般的な「眼瞼ミオキミア」からお話ししましょう。通常は片方にだけ症状が現れます。ストレスや眼の酷使による疲労、睡眠不足、更年期などが原因の場合もあり、末梢神経が

まぶたのピクピク何故起こる？

循環障害などによるコリやむくみで圧迫されることが原因と言われています。痙攣以外に症状がなく、眼を休め、ストレスを解消できれば数日から数週間で収まります。長引く場合は、自律神経を整える鍼灸治療などが有効であると思います。次に「眼瞼痙攣」です。通常は両目に出現します。まぶしい、眼が乾く、シヨボシヨボする、テレビやパソコンがまぶしい、ドライアイの治療の効果が出ない…な



どの症状が出ます。進行すると自分の意思とは関係なくまぶたが閉じてしまいます。このような症状は眼科に行つて詳しく検査してもらつて必要があります。

最後は「片側顔面痙攣」です。初期は片方のまぶたが短い収縮や痙攣を起こすだけです。次第に痙攣が頻繁に起こるようになり、片側の顔全体へと広がります。顔が歪んだり眼が開けられなくなってきたりなど悪化させると恐い病気です。一刻も早く病院へ行かれた方がいいでしょう。

関 修一（せきしゅういち）

健育会 東銀座整骨院・整体院・
鍼灸院 院長

代替医療の総合治療院としての確立を目指す。タイトルの「face to face」患者さん自身と向き合つて患者さんの症状と闘つたことを願つてつけた

毎月一日の発行です